

# 試合会場レポート

[試合番号]C3

[開催日]2015/06/27

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]13:03

[終了時間]13:52

[試合時間]0:49

[主審]高橋 直也

[副審]横須賀 威之

[記録員]大山 高紀

男子：決勝戦

霞ヶ浦高等学校

監督：岩崎 匡史

コーチ：

2	25	第1セット 【0:23】	17	0
	25	第2セット 【0:23】	18	
		第3セット 【 : 】		

土浦日本大学高等学校

監督：福田 誠

コーチ：吉田 達也

【 】内はセット時間

## 戦評

決勝戦は3年ぶりの全国大会出場を果たそうとする霞ヶ浦高等学校と、3年連続全国大会出場を目指す土浦日本大学高等学校の対戦となった。

第1セット、序盤は両チームとも持ち味を生かし、一進一退の攻防が続いた。中盤、土浦日大9番片岡の強烈なスパイクが炸裂し、ブロックアウトを取る場面もあったが、霞ヶ浦は13番1年生セッター柴の巧みなトスワークで徐々に点差を広げ、11-7となったところで土浦日大が1回目のタイムアウトをとる。しかし、その後も霞ヶ浦は2番有吉の強烈なジャンプサーブでリードを広げる。着実に加点した霞ヶ浦がこのセットを25-17で先取した。

第2セット、霞ヶ浦柴のサーブから、土浦日大が8番杉原のクイックの得点でスタートする。序盤は両チームとも第1セットには見られなかったミスが目立ち、どちらも流れに乗れない様子だった。その後に均衡を破ったのは霞ヶ浦。柴のサーブで土浦日大のレシーブを崩し、6番利根川のダイレクトアタックなどで10-7としたところで、土浦日大がタイムアウト。土浦日大はリベロ5番澤田のファイトあるプレーで会場は大きく湧いたが、その後はミスが続き流れには乗れなかった。一方霞ヶ浦は、有吉のサーブ、4番菅原（康）のブロックで加点し、16-10と大きくリードを広げ、土浦日大が2回目のタイムアウトをとる。土浦日大は4番中村がセンターから強烈なスパイクで追いつがるが、反撃もここまで。最後は霞ヶ浦が菅原（康）のダイレクトスパイクで試合を決め、3年ぶりの全国大会出場を手にした。